

学校通信

ひがしやま 第78号

発行日 令和7年2月19日(水)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○九重町立野矢小学校3・4年生との遠隔交流の実施(2/14)

本校小学部3年生と4年生との交流は、1月17日金曜日には、お互いの「自己紹介」を、今回は、お互いの学校の歴史や地域の特徴などを相互に紹介しました。

相手校は地域の方へ直接インタビューを重ねるなど、授業の一環として行った取組を発表していました。質問から
①東山小はスケートをするけど、野矢小はスキーをする。
②野矢小の運動会では「縄縦跳(なわない)」という競技があり、地域の人と「縄をなう」競争がある。③両校ともジビエを給食で食べるなどなど。交わす質問と回答に、それぞれから歓声・感嘆があがりました

実施後の本校児童アンケートからは

①一緒にレクリエーション・ゲームがしたい。②リアルにあってみたい。③東山の歴史をもっと調べたい(戦争体験者からの聞き取り、日本一の牛の話、温泉駅の話等=学校や地域への誇り)。④key note(プレゼン用ソフト)をもっと活用したい。

教師の振り返りでは①端末(タブレット)を使う「便利さ」や「最適な伝え方があること」に気づくことができた。②アンケート結果から学習に対する意欲や関心が高まっている。③Zoomの活用や児童が資料作成の際、指導における「教師のICT活用指導力」の向上につながったなどがありました。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



○ブリオバトルの開催(2/14)

ビブリオバトル(知的書評合戦)を昼休み、生徒の進行により、小学校のホールで開催しました。県立図書館でも開催することができますので、ご存じの方もいらっしゃると思います。

自分のイチオシの本について、その内容やお薦めのポイントをまとめ、さらに読書を通じて、どんな影響を受けたか、あるいは、どんなところに惹きつけられたかを自らの言葉で「語る」ことで、「読みたい」と感じてもらうかの競技です。

今回は、1人5分の持ち時間で、中学生2名がチャレンジしてくれました。興味を引くような工夫と説明、自分を変えた本との出会いを熱く語るなど、両名の姿を見た生徒の感想では「熱量」を感じた、とまで言わしめたプレゼンをみせてくれました。私の予想以上でした。

次に続く子どもたちがどんな本を、そしてどんな「自分自身」をプレゼンしてくれるか、今からとても楽しみです。

